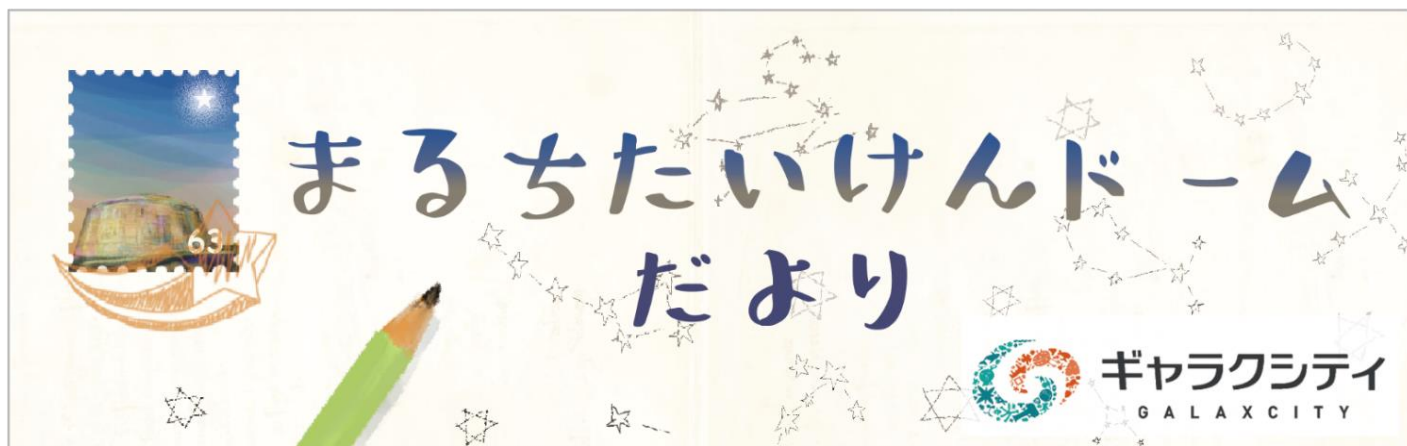




とうせい 一等星は21個か？

このページをご覧になっている皆さんなら、1等星の名前をいくつかご存じでしょう。空全体で、1等星は21個あると言われます。東京からはそのうち17個を見ることができます。

星の明るさは等級であらわされます。ギリシャの天文学者たちが、人の目に見える一番暗い星を6等級、明るい星を1等級と決めました。人の目で、明るさを正確に測ろうとしても限界があります。19世紀の末頃から天体写真が発達してくると、正確に測れるようにはなりましたが、星の色によって「写真」と「人の目」では微妙な違いがあることもわかりました。そこで、人の目と同じ明るさに写すことの出来るフィルターと感光材料の組み合わせを工夫してようやく明るさを、人の目の感覚と矛盾なく測ることができるようになりました。



しずみゆくシリウス（2020年4月）

そして1等級と6等級の間には100倍の明るさの違いがあるという定義も定められたのです。現実には、1等星と呼ばれている星のうちいくつかは、本当はもっと明るい0等級だったり、さらに明るいマイナス1等級です。

マイナス1等級 2個（東京から見える数2個）

0等級 7個（東京から見える数6個）

1等級 12個（東京から見える数9個）

現在、プラネタリウムでもマイナス1等級も0等級の星も含めて便宜的に1等星と呼ぶことがあります。本当はマイナス1等星や0等星と呼ぶべきなのでしょう。

かいせつ いん た べ いっし
（解説員：田部 一志）